

# 庁議の概要

開催日 平成26年7月29日（火）

## ◎項 目

### 1 各部署等の今週の動きについて【各部署等】

## ◎内 容

### 1 各部署等の今週の動きについて【各部署等】

総務部が取りまとめた各部署等の今週の動きに関する資料を配付の上、各部署による概要説明及び協議が行われた。

<主な協議の概要>

#### ○オランダウェストラント市先進農業視察研修について

（農業振興部）

先週、農業関係者など全33名でオランダに行ってきた。オランダでは、聞いていた以上の規模と進んだ実態というのを目の当たりにしてきた。従来のいわゆる農業地帯というよりは工業地帯というイメージで捉えた方が近いと思う。非常に進んでいるが、さらに上を目指して、例えば収穫時の機械化などについての研究などいろんな取り組みをしている。しかも官主導という形ではなく、地元の農業者と地元の企業が独自にやっているということであった。

一方、量的な生産ということを達成しているが、価格の下落ということが非常に大きな課題であると聞いた。今は比較的ヨーロッパの景気がいいが、少し景気が傾くと、視察した花の施設は即倒産ということも現実の問題としてあり得るといったことを聞き、経営という視点で見ると綱渡りといった状況もあるように感じた。

また、量的生産という意味では非常に進んでいるが、それ故、細かいところに目が届かないということも見えた。集出荷設備から出てきた花の束を包装して箱に詰める作業において、花を箱に入れて押し込んで蓋をするという花の扱いとしては日本ではあり得ないようなことも見られた。

（知事）

逆に言えば、日本の質がそれだけ高いということ。

（農業振興部）

量的な拡大に対して、品質、目に見えないところにもこだわるというある意味相反する部分であるが、そういう違いが見えてきた。量的拡大も追求しながら、そういう日本の良さみたいなところをどう生かしていくのかといったことが課題なのかと思った。

今回、若い人に多く参加いただいております、その若い人が今の現状での世界最先端を見て、目標というか、イメージができたと思う。高知の状況がそこまで一足飛びに行くとは思わないが、1つでも2つでもできることをやってみたいということをおっしゃっていたので、そういう方々を少しでも支援ができるように、一緒にやっていくということで決意を新たにしました。

また、日本以外にも韓国や中国も同じように関心を示しているということも聞いた。特に韓国は国家の政策として、どんどん施設を導入してやっており、そのターゲットは日本だと明確に言っているということだった。韓国とか中国とかも意識した対応をしていかないといけないと言われ、確かにその通りだと感じた。

(知事)

韓国のどこのことか話はあったのか。

(農業振興部)

どこということでは言ってなかったが、1ヘクタールぐらいの規模でそうした施設を入れて実際にやっているということであった。

### ○平成 25 年度決算書について

(会計管理局)

平成 25 年度の決算書について、8 月 13 日までを各所属の締め切りとしている。また、各所属において委員監査も始まると思う。各所属において、決算書と委員監査用の資料などを必ずチェックしていただきたい。平成 23 年度の決算ではミスが多かったので、もう一度確認していただいて最終間違いがないかどうかチェックをお願いしたい。

(知事)

その通りである。いつも話しているように、適正な会計事務執行のうえにこそ県政の信頼はあると思うので、ぜひ徹底をしていただきたい。